

編集後記

雑誌の査読に携わっていると、適切に用語が使用されているか確認しなければなりません。現在、査読論文は電子的に送られてくるため、出張中であれば用語の確認は、整形外科用語集をパソコンにダウンロードして行っています。本を持ち歩く手間は省けますが、用語の対訳が羅列されたエクセルシートをスクロールする作業は疲れます。職場にいれば製本された用語集片手にチェックしますが、やることは大差のない単純作業です。

ところで16年間にわたって国分正一先生が本誌にご執筆された“整形外科用語の散歩道”が『整形外科用語のいざない』としてこの5月に上梓されました。本書は用語解説にとどまらず、その背景や歴史（さらに出典文献）、また国分先生のお考えがエッセイ風にまとめられ、我々の好奇心をくすぐる内容です。今では用語集と共に手元に置き、用語の持つ本来の意味などを確認しています。例えば giving way（膝くずれ）に関しては、“後に英国に留学する機会があり、（中略）交差点の手前にある「一時停止」に停まる。例の白字に赤で縁取りされた逆三角形の標識である。よく見ると GIVING WAY と書いてあるではないか。それが、米国に行くと、YIELD となる。（中略）そこで、giving way は屈服する、折れる、更に膝くずれとなる。医学用語は一般にギリシャ語やラテン語由来である。その中で、giving way は症状の用語ではあるが、数少ない正に英語由来のものである。”とあり、つつい読み進み、本来の仕事から脱線することが問題でしょうか。

今回の特集は、田村直人先生ご企画の「整形外科医

に役立つ高齢者リウマチ性疾患の知識」です。リウマチというと20～50歳代の女性に好発する疾患と習った記憶があります。しかし現在、高齢リウマチ患者を診療する機会も増えており、我々はその臨床的特徴や治療法について知らなければなりません。もちろん高齢者の問題はリウマチだけにとどまりません。本誌の今年上半期の特集を見ても、高齢者の脊髄損傷（3月号）、人工関節のレジストリー（4月号）、手の変形性関節症（臨時増刊）、ロコモとフレイル（5月号）といったように、その多くが高齢者に関するものとなっています。私が医師になった30年前の本誌（第31巻）を調べてみましたが、全13号のなかで高齢者を対象とした特集は、高齢者腰痛（No.13）だけでした。やはりこの数十年間で疾患構成が大きく変わっているのでしょう。

さて、前述の『用語のいざない』でリウマチはどのように記載されているのでしょうか。“Rheumatism はパリの内科医 Guillaume de Baillou（1538-1616）の造語である。Rheuma はギリシャ語の rhein 流れると ma 結果からなる。他に rhein を採る医学用語に gonorrhea 淋疾、diarrhea 下痢がある。前者は gon- 性交によって膿が尿道口から滴る、後者は便が腸管から dia- 完全に流れ出る。流れる川はラテン語で rivus であるが、スペイン語、ポルトガル語では rio である。米・メキシコ国境をなす Rio Grande は「大川」、Rio de Janeiro は「一月の川」の意味と知った。”そうだったのか…と、また読み耽ってしまいました。

（石橋恭之）

「整形・災害外科」第61巻 第8号（7月号） 2018年7月1日発行（毎月1回1日発行） 定価（本体2,500円＋税） 年間購読料金 定価（本体39,400円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。